



はぴふる通信



6月から敦賀市の健康診査・がん検診が始まります。

定期的な「けんしん」受診で健康管理を！

敦賀市民の急性心筋梗塞による死亡率は、全国に比べ 1.4 ～ 1.5 倍程度高い※ ことが分かっています。心筋梗塞の大きな原因の一つは、生活習慣病によって引き起こされる動脈硬化です。

敦賀市が実施するけんしん（健康診査・がん検診）は、生活習慣病の予防や早期発見・がんの早期発見を目的としています。上手に活用して、健康を守りましょう。

※人口動態統計特殊報告（平成 30 年～令和 4 年）より

実施期間 6月2日(月)～12月30日(火)

※ただし、「健康センターはぴふる」での大腸がん検診の容器の配布・回収は令和8年2月27日(金)まで、指定医療機関での子宮頸がん・乳がん検診は令和8年2月28日(土)まで実施。

実施場所 指定医療機関、集団けんしん会場

種類	対象	自己負担金
フレッシュ健診	19～39歳 (職場などで受診機会がない方)	800円
特定健診	40～69歳（国保加入者）	1,300円
	70～74歳（国保加入者）	500円
後期高齢者健診	後期高齢者医療制度加入者	無料
一般健診	生活保護受給者	無料
子宮頸がん検診（子宮頸部の細胞診）	20歳以上の女性	1,000円
乳がん検診（マンモグラフィ）	40歳以上の女性 (前年度受診していない方)	1,000円
大腸がん検診（便潜血検査）	40歳以上	500円
肺がん・結核検診（胸部レントゲン）	40歳以上	500円
胃がん検診	胃透視	50歳以上 1,000円
	胃内視鏡	50歳以上 2,000円
肝炎ウイルス検診（血液検査）	40歳以上 (過去に受けた事がない方)	700円 (40・45・50・55・60・65歳は無料)
歯ッピー検診 (むし歯、歯周病などのチェック)	18歳以上	無料



- 70 歳以上の方はがん検診・肝炎ウイルス検診が無料
- 40 歳の方は大腸がん検診が無料（希望者には容器を送付します。）
詳しくは受診券に同封の案内文をご覧ください。
- 非課税世帯・生活保護受給者の方は、健康推進課への事前申請＜6月10日(火)以降＞により無料。
手続きには1週間程度かかります。【持ち物：本人確認書類・受診券（非課税世帯の方のみ）】

集団けんしんは、完全予約制です！！

Web 予約受付中！ 【すべての日程】

電話予約受付は、6月2日(月)から開始します。【6・7月日程】

※予約締切は、けんしん日の4日前までとなります。

詳しくは、市 HP または5月下旬に送付される受診券の案内をご覧ください。

集団けんしん Web 予約



問い合わせ先 健康推進課 ☎ 25-5311

6月は男女共同参画月間です

男女共同参画の視点からの防災について考えてみましょう！

昨年1月に能登半島沖を震源とする地震が発生し、敦賀市でも震度4の揺れを観測しました。いつ、どこで、どのような災害が起こるのか誰にも分かりません。

平成23年3月11日に東日本大震災が発生してから、毎年のように大規模災害が発生しており、災害時における「女性の視点」の必要性が求められるようになりました。女性に限らず、お年寄りや障がいのある方、性的マイノリティの方、外国籍の方など、さまざまな視点からの防災対策が必要です。

〇避難所ではどのような問題が発生しているのでしょうか？

- ・男女の役割の固定化
- ・女性や子どもに対する暴力
- ・女性、乳幼児、高齢者、障がい者などへの配慮が十分でない
- ・ペットを連れて避難できず、車中泊に…
- ・支援物資が届いてもサイズや数が足りない



心身への負担増



能登半島地震では、避難所でのストレスから、住める状態ではない自宅に戻る人も…

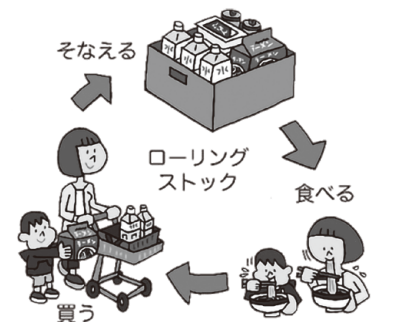
さまざまな立場や性別の人からの意見を反映することが重要です！！

平時からの家庭における取り組みについて

- ☑ ローリングストック※を活用するなどし、1週間分の食料を備えておきましょう。
- ☑ 地域活動に積極的に参加し、横のつながりを作りましょう。
- ☑ 防災リュックや防災ポーチの準備をしておきましょう。
- ☑ 配慮が必要な備蓄品の確認を定期的に行いましょう。
(生理用品、化粧品、アレルギーに対応した食品、粉・液体ミルク、紙おむつ、おしりふき、常備薬、大人用紙おむつ など)

※ローリングストック…

蓄える→食べる→補充することを繰り返しながら常に一定量の食品を備蓄する方法



みんなが安心して過ごせる避難所運営のために

- ☑ 普段から自治会の活動に女性の意見を取り入れましょう。
- ☑ 地域の防災訓練に女性や子ども、高齢者も参加しましょう。
- ☑ 食事や掃除、物資の配布など性別によって役割が固定化しないようにしましょう。
- ☑ 全ての人が一目で分かりやすいピクトグラム※を活用してみましょう。
- ☑ トイレなどの場所や照明の工夫をしたり、相談窓口のポスターを掲示するなど女性や子どもに対する暴力などを予防しましょう。

※ピクトグラム…情報や注意を伝えるために用いられる、単純化された絵や図記号



問い合わせ先

市民協働課 ☎ 23-5411
危機管理対策課 ☎ 22-8166